



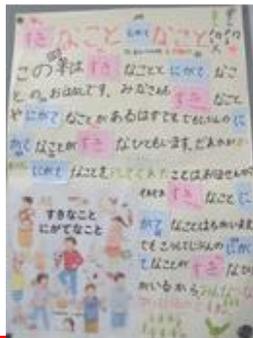
【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立もみじの丘小学校

読書センターとしての機能

図書委員会 「読書週間の取組」

1. 図書委員会で読書週間のねらいを学び、活動の分担をする。
2. 読書への意欲を高めたい子ども向けの、学校図書館に足を運びたくなったり、たくさんの本を読んできたくなくなったりするようなスタンプカードを作成する。
3. 校内放送やポスター等で様々な本について紹介し、普段読まないジャンルの本に触れる機会を作る。
4. 読書週間中に達成した子どもやこれまでの貸出図書の数が多い子どもなどに手作りのしおりを渡し、これからも本を読んでいこうという意欲付けを行う。
5. 読書週間中の貸出し結果から、人気の高かった本の紹介のPOPや帯を作成し、より本に親しむ習慣を促すようにする。



学習センターとしての機能

小学5年生 図工 「言葉から思いを広げて」

1. 教科書の作品例を鑑賞して、学習の流れやイメージをつかむ。
2. 校内のお気に入りの場所を思い浮かべ、お気に入りの理由や全校に知ってもらいたいよさについて考える。
- 3 お気に入りの場所について、誰にどんな思いを伝えたいか、表したいことを見付ける。
4. 図書館を選んだ子どもは、全校のみんなに図書館のよさや読書の楽しさを紹介するため、どんなプレートや飾りにしたいか、動き、バランス、色などを基に、作品のイメージをもつ。
5. より目に留まり、図書館に足を運びたくなる気持ちを引き出すために、色や形の組み合わせや材料の使い方を工夫して表す。
6. 実際に置いたり飾ったりして、自分たちの作品のよさや美しさ、表現の意図や表し方について話し合い、全校の図書館利用を広げる機会につなげていく。



情報センターとしての機能

小学校4年生 国語、特別活動 「図書館の達人になろう」

1. 自分の住んでいる地域の図書館について思い出したり、学校の図書館で知っていることなどを、出し合ったりする。
2. 教科書を読んで、図書館には、「本を探しやすくする工夫」がされていることや、「本以外の資料」も置かれていることを知る。
3. 地域や学校の図書館は、どんなときに役立つと思うか、友達と話す。
4. 学校の図書館に行き、どんな工夫がされているか確かめる。
5. テーマに沿って図書館の本を調べる。
例①「詩の本」「スポーツの本」「図鑑」などがどこの棚にあるか予想して確かめる。
6. 好きな本を探して、本を借りるとともに、返却日をしっかりと確認する。

